

客観的評価

学生による自己評価

3つのポリシー

入学時  
考査

アドミッション・ポリシーを満たす人材かどうかの判定

- |                |           |
|----------------|-----------|
| ●志望理由書         | ●志望理由書    |
| ●調査書、推薦書等の記載内容 | ●入学時アンケート |
| ●入学考査時の成績      |           |
| ●面接時の試問        |           |

在学時  
の単位  
認定

カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているかどうかの評価

- |  |            |
|--|------------|
| ●授業目標の達成<br>定期試験、レポート、課題、作品制作、<br>プレゼンテーション等 | ●学修ポートフォリオ |
| ●GPA(単位取得状況)                                 | ●授業評価アンケート |
| ●資格・免許取得状況                                   | ●学生生活アンケート |
| ●成績評価分布                                      | ●教職カルテ     |
| ●授業評価アンケート結果と授業改善<br>計画書の公開                  | ●進路計画アンケート |
- 
- |                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| ●学外活動への参加(地域連携、公募<br>展、個展等) | ●発表支援制度の申請状況等 |
|-----------------------------|---------------|

卒業時  
判定

ディプロマ・ポリシーを満たす人材になったどうかの判定

- |             |                           |
|-------------|---------------------------|
| ●卒業要件(GPA)  | ●学修ポートフォリオ                |
| ●卒業制作の評価    | ●卒業時アンケート                 |
| ●資格・免許取得状況  | ●教職カルテ                    |
| ●受賞歴        | ●卒業生進路調査(希望する職等に<br>就けたか) |
| ●進路状況       |                           |
| ●就職先へのアンケート |                           |

アドミッション・ポリシー

1. 美術・デザインに関する基礎的・専門的な技術を修得しようとする人。
2. 美術・デザインに関する基礎的・専門的な知識を修得しようとする人。
3. 社会性と幅広い教養を身につけようとする人。
4. 将来は、美術・デザインの技術・知識を活かし、創造的に社会貢献しようとする人。

カリキュラム・ポリシー

1. 充実した初年次教育により、基礎的表現技術と知識を確実に修得させる。
2. 横断的カリキュラムにより、柔軟な専門分野選択を可能とする。
3. 一般教養、専門教養のバランスのよい履修により、社会性と幅広い教養を修得させる。
4. 専門実技諸科目のアクティブ・ラーニングを通じて、問題解決力・主体性を育成する。
5. 現代の美術・デザイン表現に不可欠なデジタルスキル(ICTの活用を含む)を修得させる。
6. 卒業制作作品とその発表をもって、最終的な学修評価とする。
7. 1~6を専門科目と共通科目の二つの区分に編成する。

ディプロマ・ポリシー

1. 美術・デザインの専門的な表現技術  
専門科目64単位(必修6科目19単位を含む)を修得する。
  2. 美術・デザインの理論的な知識  
専門教養(美術史・美術理論)10単位(必修3科目6単位を含む)  
以上を修得する。
  3. 社会性と幅広い教養  
一般教養から20単位(必修2科目4単位を含む)以上を修得する。
- 合計124単位以上をもって卒業要件とする。

教育目標の達成により身につく力は、次のとおりである。  
表現力／創造力／洞察力／情報収集能力／探求力／プレゼンテーション能力／デジタルスキル／美術・デザインに関する理論・歴史の知識／美術・デザインに関する技法の知識／コミュニケーション能力／論理的思考力／問題解決力・主体性／キャリア形成力／倫理観・社会的責任